

令和 7 年度消防吏員被服の納入（更新者分） 仕様書

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

総 則

この仕様書は、鳥取県西部広域行政管理組合消防局（以下「当局」という。）において調達する令和 7 年度消防吏員被服の納入（更新者分）の仕様について適用する。

1 品名及び数量

（1）制服及び盛夏服関係

品 名	数 量	備 考
制服上着（男性用）	9 着	
制服ズボン（男性用）	1 1 本	
制帽（男性用）	5 個	
制服用ベルト	1 3 本	（紺）
制服用ネクタイ	1 1 本	（紺）
盛夏服上着（男性用）	6 着	長袖
盛夏服上着（男性用）	1 7 着	半袖
盛夏服ズボン（男性用）	1 4 本	
盛夏帽（男性用）	5 個	
盛夏服用ベルト	5 本	（青）
盛夏服用ネクタイ	1 本	（青）

（2）活動服関係

品 名	数 量	備 考
活動服上着	2 7 0 着	
活動服ズボン	3 0 1 本	
活動服用ベルト	1 0 7 本	2ピン式

（3）救急服関係

品 名	数 量	備 考
救急服	4 2 着	
救急服ズボン	5 5 本	

（4）雨衣及び防寒着関係

品 名	数 量	備 考
雨衣	1 1 6 着	上着、ズボン
ブルゾン（消防防寒衣）	1 8 着	
ブルゾン（制服用防寒衣）	1 着	コート型

2 仕様

別紙仕様に合致するもの又は同等以上の性能を有するもの。

3 納入期限

令和8年3月10日

4 試作品の提出

落札者は、10日以内に試作見本を提出し、消防局総務課係員の検査を受けること。ただし、消防局長が認める場合には、試作品の提出を行わないことができるものとする。

5 採寸

採寸については、サイズ表による試着ゲージにより、各人の着せ付け採寸を行い、入念にそのサイズを決定するものとする。

ただし、袖丈、ズボンの股下寸法については、サイズ表に示した基準にこだわらず、各人の体型に合わせて仕上げるものとする。

6 検査

検査は、外観検査及び分解検査とし、その経費は一切納入者の負担とすること。

7 納品

製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装のうえ、氏名、サイズが容易に確認できるとともに、職員ごと紙袋等に一括にまとめて収納し、所属ごとに分けて納品すること。

8 納品の保証

納入後であっても生地、型式、縫製等に不備又は相違があるときは、速やかに補正し、又は取替えるものとする。

9 注意事項

- (1) 製作に要する費用は、当初の契約額のとおりとする。
- (2) 使用素材は、すべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は、糸ムラ、織りキズ、ムラなどないもの、また織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製について、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。また仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 仕様書の内容を納入者の解釈により勝手に変更してはならない。
- (5) この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。

1 制 服

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

1. 品名、品番

<上衣>

〔男性用〕（株）イマジョー製 TX126-N

〔女性用〕（株）イマジョー製 TX1020

<ズボン>

〔男性用〕（株）イマジョー製 TX127AJ-1

〔女性用〕（株）イマジョー製 TX1022

<スカート> （株）イマジョー製 TX1021CS

2. その他追加仕様

<上衣> 男女共通

ア. ステッチ入りとする。

イ. 階級章台は2.5cm×4cmの面ファスナー<ループ面>を縫い付ける。

ウ. 左下衿にフラワーホール<ネムリ穴>を施す。

エ. 士長は銀蛇腹線、司令補は金蛇腹線、司令以上は金蛇腹線の下部に階級毎の消防章を付ける。

<ズボン> 男女共通

ア. ワンタックとする。

イ. 裾仕上げは靴擦れ付きとしすくい縫いにて仕上げる。

3. サイズ表（単位：cm）

<上衣>

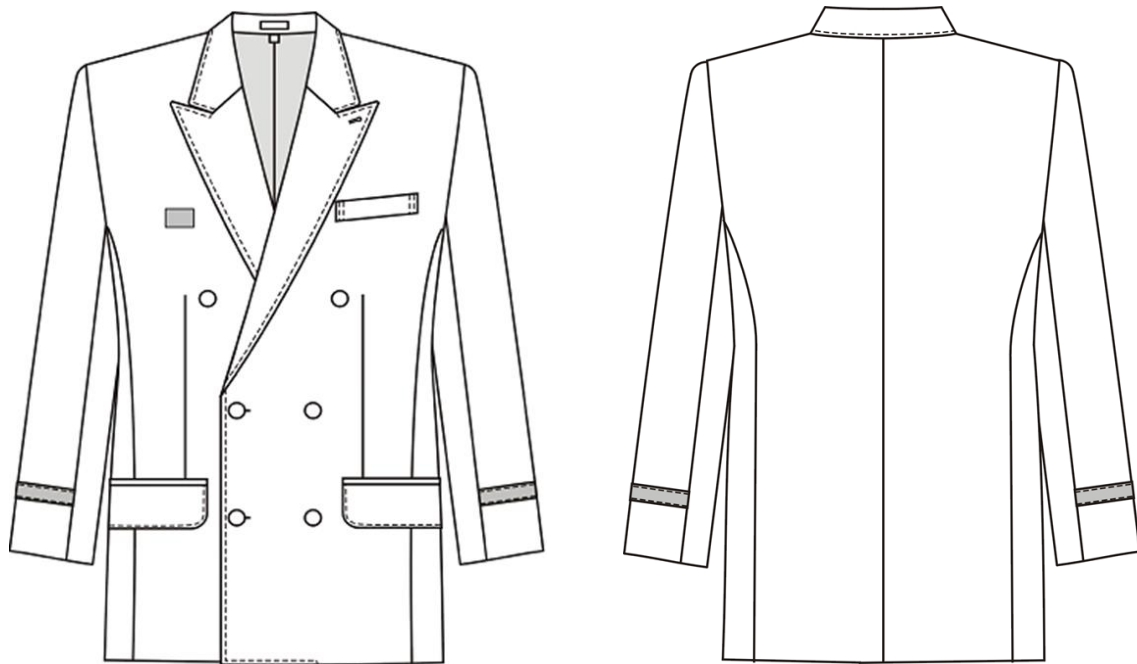
サイズ	胸囲	着丈	肩巾	袖丈
A2	98	69	45	55
A3	103	71	46	56
A4	107	74	47	58
A5	112	76	48	60
A6	117	78	50	62
B2	110	70	47	55
B3	115	72	49	56
B4	120	75	50	58
B5	125	78	51	60
AB4	112	73	47	57

<ズボン>

サイズ	ウエスト	股下
A1	70	採寸にて決定する
A2	73	
A3	76	
A4	79	
A5	82	
A6	85	
A7	88	
B2	91	
B3	95	
B4	100	
B5	105	
B6	110	

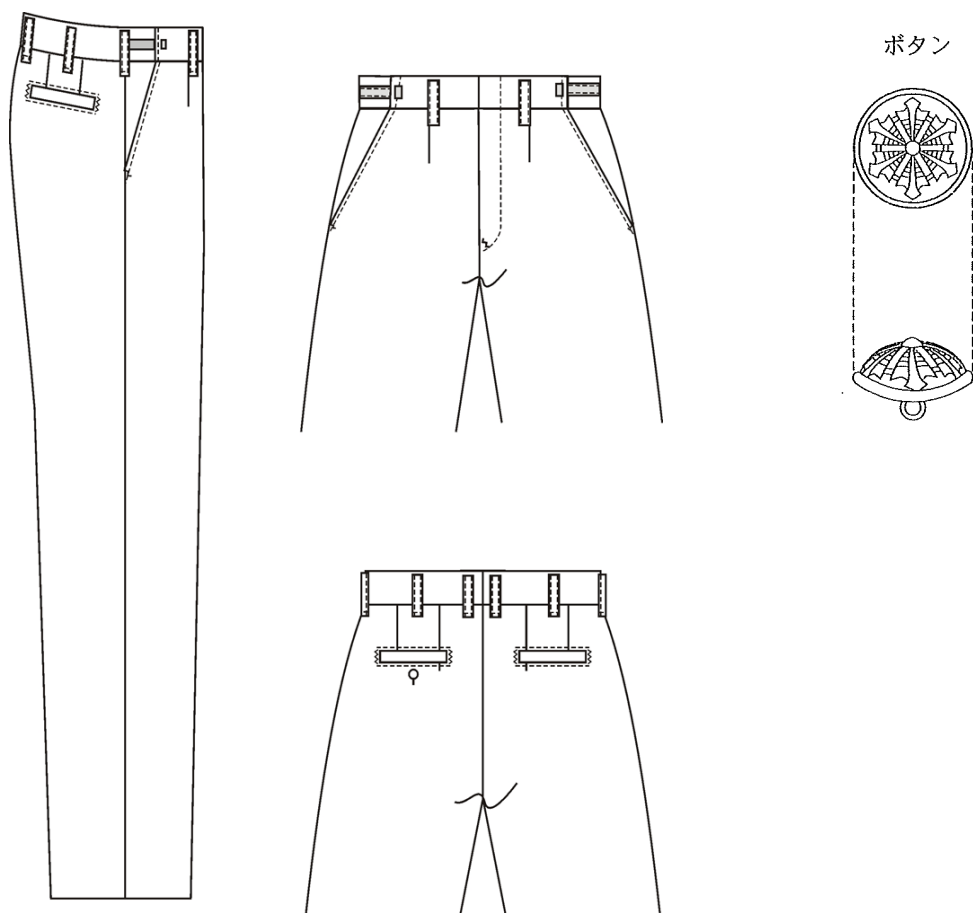
<参考図>

[制服上衣（男性用）]

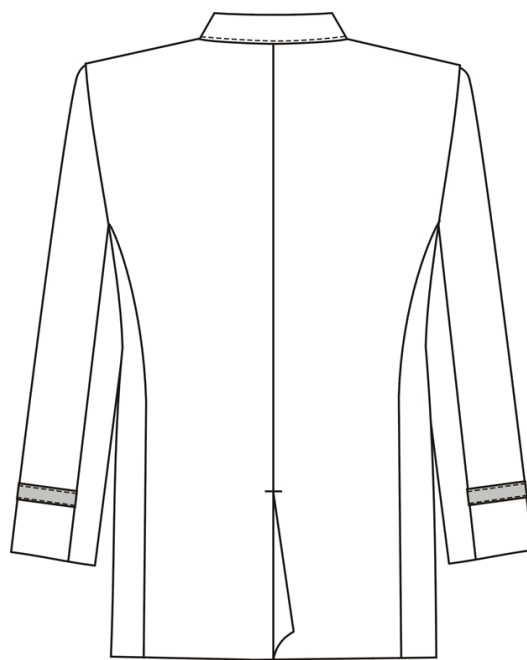


[制服ズボン（男性用）]

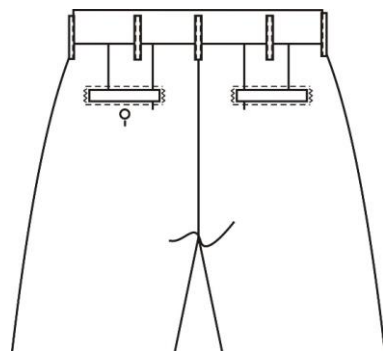
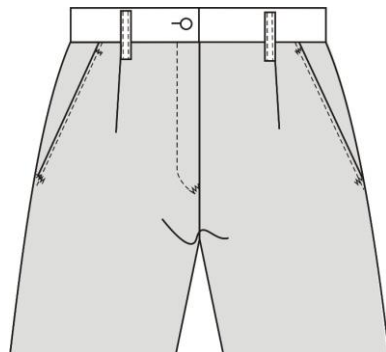
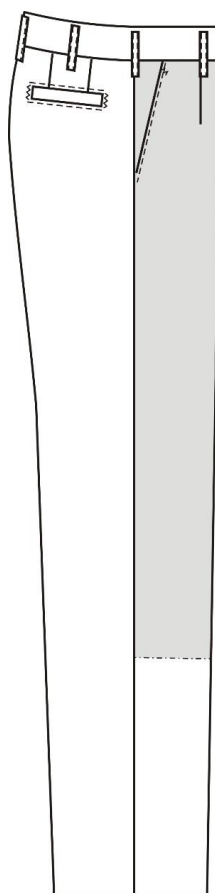
[ボタン（共通）]



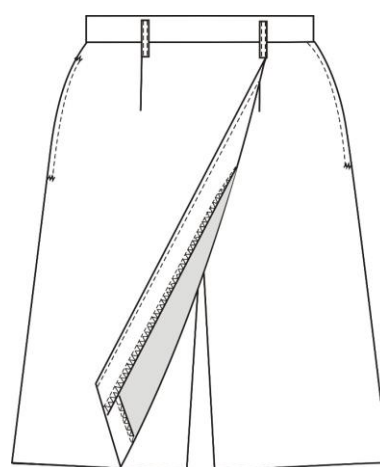
〔制服上衣（女性用）〕



〔制服ズボン（女性用）〕



〔制服スカート〕



2 盛夏服

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

1. 上衣

(1) 型式 カッター衿型肩章付、前立て額付、長袖カフス式、半袖、左右胸ポケット雨ブタ付（ボタン止め）

(2) 材料

区 分	仕 様	用 途
表 地	ニッケ 先染エコトピカル<EWS716> 毛 30% 再生ポリエステル 69.5% 制電性繊維 0.5% 静電防止	身頃・袖・カフス・ヨーク・背・ポケット
色 相	C/# 1960（指定色）	
衿 芯	テトロン プレス芯	
芯 地	ポリエステル 65% 綿 35%	
衿 吊	指定の物	
縫 糸	ポリエステル 100% #50	
釦	ポリ釦（長袖）13mm×16 個（半袖）13mm×10 個	肩章・雨ブタ・前立て・カフス
マジック	YKK マジックテープ 25mm幅	階級章台

(3) 縫製条件

区 分	要 領
針 数	3cm 間で地縫は 11 針以上、飾りは 13 針以上、オーバーロックは 8 針以上とする。
穴かがり	上衣はネムリ穴とする。 上衣の前立・雨ブタはタテ、肩章・カフスはヨコとする。
釦 付	機械付又は手付とする。 手付は 2 本の糸を 1 個の穴に 3～4 回通し、根巻は 3 回以上とする。
裁 縫	糸調子は、ツレ、タルミの無いようにし、返し針を完全にすること。縫糸はテトロン糸を使用すること。また、糸始末を丁寧に行うこと。

(4) 縫製

区 分	要 領
主 衿	衿にはテトロン芯を入れ、衿巾は背中央で 4.5cm（衿台巾 3.7cm）衿先巾 8.0cm とする。
身 頃	前身のハギは認めない。
前立て （額付）	前立ては表額付きとし、釦を 6 個つける。ガク巾は 4.0cm とする。
胸ポケット	① ポケットは左右 2 ケで雨ブタ付とする。 ② 左右雨ブタには、テトロン芯を入れる。 ③ 雨ブタは巾中央で高さ 6.0cm（端部で高さ 4.5cm）横巾 14.0cm、胸ポケットは 13.5cm、深さ 14.5cm、インダーツとする。 雨ブタは釦止めとする。（ループは不可）

ペン差し	左胸ポケットの雨蓋前端より 2.0cm 内側に巾 2.0cm のペン差しをつける。
衿 巾	衿巾は所定のものを衿付中央にはさみ縫付とする。
肩当て	巾は中央で 7.0cm (AL サイズ) とし、背肩ヨークは二重仕立とし、はさみ縫いとし表一条飾りミシン縫いとする。(1 枚は不可)
肩 縫	片倒しくみ縫いとする。
背タック	背ヨーク中心に巾 3.5cm のボックスプリーツをする。
脇 縫	本縫いし更にオーバーロックをかける。(インターロックミシン可)
袖 縫	1 枚袖とし袖の縫合せは本縫いし、更にオーバーロックをかけて片倒しとする。
袖付縫	本縫いし更にオーバーロックをかける。(インターロックミシン可)
袖 口	長袖はノボリ付きとし、カフス巾 6.0cm、のぼりの高さ 15.0cm とする。開き 12.0cm とし、ボタンはカフスに 2 個、ノボリはカフスに 2 個、ノボリに 1 個取り付ける。半袖は袖口の折り返しをミシンたたきとする。
片 布	所定のものを上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示を縫付ける。
サイズネーム	衿付中央の下縁に、はさみ縫付ける。
階級章台	右前身頃雨蓋付根、中央上部 1.5cm 上に、縦 2.5cm 横 4.0cm の面ファスナーを四方縫い付ける。
肩 章	巾は 4.5cm とし、端を袖付けの縫目に縫込み、クロスステッチを入れる。肩章の先は衿付根部とし、ボタンで止める。
裾折返し	裾は三ツ巻縫いとして、ワイシャツ式とする。

2. ズボン

(1) 型式 男性用ズボン：ワンタック、長ズボン、腰帯付、裾口シングル、両脇ポケット、両ピスポケット

(2) 材料

区 分	仕 様	用 途
主材料	地 トスコ エコポーラ<ECO2000> 再生ポリエステル 80% 麻 20% C/# FD 紺 (指定色)	前身頃・後身頃・前立て・天狗・帯・ポケット向当て・ループ
	マーベルト／袋地 構成 ポリエステル 65% 綿 35% 品番 # 7500 C/# クリーム	帯・ポケット袋
副材料	YKK 製ファスナー	前当て
	オビ芯	帯芯
	前環	前当て
	ポリ釦 15mm	天狗・ピスポケット

(3) 縫製条件 上衣に準じる。

(4) 縫製

《男性用ズボン》

区 分	要 領
前タック	左右各 1 本を外向けに付け、ワンタックとする。

腰 帯	帯巾 3.5cm 仕上り寸法とし、芯地を入れ、裏はマーベルト（滑り止め）を付ける。
ループ	上部より 1cm 下にループ巾 1cm、長さ 5cm のループを 8 本付ける。ただし、後ろ中心のループは 2 本とする。
脇ポケット	両脇口の個所に 0.6cm の飾りを掛け、他は割り縫い、口巾 15cm、深さ上門より 27cm、袋巾 16cm とし、向当布を内外につけ、口端に門止めをする。右袋内に共生地で小物ポケットを縫い付ける。
尻ポケット	上端より 9cm 下に口巾 14cm、深さ 18cm 片玉にて左右に蓋なしのポケットを付け、左はボタン止めとする。ポケット両口端にはそれぞれ門止めとする。
相引き・内股尻縫い	裁ち目はオーバーロック、内股、尻縫いはミシンで 2 回縫いし、特に尻縫いは、糸切れを防ぐため、伸ばして地縫いする。
棒シック	袋地使用、尻縫目にミシン目が表に出ないように 10cm、巾 2cm のものを付ける。
裾 口	折り返しは 3cm 以上とし、オーバーロック掛けミシンたたきとする。
靴づれ	巾 2cm、長さ 18cm のものを付ける。
片 布	上前、脇ポケット裏に上衣と同等の片布を付ける。
サイズネーム	上前、腰裏に取り付ける。
穴かがり	機械穴、鳩目とする。

《女性用ズボン》

区 分	要 領
ウエストベルト	ベルト巾は 3 cm とする。
脇ポケット	脇セットポケットは、口巾 16cm とし上下門止めをする。
尻ポケット	尻ポケットは両ピスで片玉口巾 1cm×14cm とし釦で止める。
前ファスナー	前中心は、18cm ファスナー開きとする。
裏 地	腰部は表に合わせてタックを取る。
ポケット袋	脇セットポケット、尻ポケット共裏地利用のスレーキとする。
ベルト通し	1cm 巾で中巾 4.5cm とし、前身 2 本、後身 3 本とする。
前タック	ワンタックで、前側は 2.0cm・脇側 1.5cm のヒダ奥を取る。
ダーツ	後身頃各 2 本取りとする。

《女性用スカート》

区 分	要 領
ウエストベルト	巾 30mm の腰帯芯（インベル芯）を入れる。 巾 1cm、長さ 4cm のベルト通し、4 本付き。 三段尾錠を付ける。両脇にスカート巾を挟み込む。 左側上部ベルト位置で三段尾錠で止める。
前身頃	ラップ式とする。
ポケット	右サイド脇ポケットは、セットポケットとし、袋布は裏地を使用する。 ポケット口は 16cm とする。
ダーツ	前 4 本、後 4 本とし、左側で接ぎ 18cm ファスナーを付ける。

裾	裾ヘムは 5cm とし、ロックレイスする。
その他	ズボンに準ずる。

サイズ表

《男性 長袖・半袖上衣》（出来上がり寸法）（単位：cm）

	上衣丈	胸囲	肩巾	長袖丈	半袖丈	ネック
AS	78	100	43	53	26	37
AM	80	105	44	55	27	38
AL	82	110	46	57	27	39
ALL	84	115	48	59	28	40
A3L	86	118	49	63	29	42
BS	78	108	45	52	27	38
BM	80	114	47	54	28	40
BL	82	120	49	56	28	42
BLL	84	124	51	56	28	45
B3L	86	128	53	60	29	47
YM	82	100	43	57	27	37
YL	84	105	44	59	27	38
YLL	86	110	46	61	28	39

《男性 ズボン》（単位：cm）

	腰廻	股下	ワタリ巾
A1	70	フリーサイズ	32
A2	73	〃	32
A3	76	〃	33
A4	79	〃	33
A5	82	〃	34
A6	85	〃	34
A7	88	〃	35
B2	91	〃	35
B3	95	〃	36
B4	100	〃	37
B5	105	〃	38
B6	110	〃	39

《女性 長袖・半袖上衣》（出来上がり寸法）（単位：cm）

	ネック	肩幅	長袖丈	半袖丈	胸囲	着丈	長袖口	半袖口
7号	36	42	54	22	96	62	5*23	31.5
9号	37	43	55	23	100	64	5*23	32.0
11号	38	44	56	23	104	66	5*24	32.5
13号	39	45	57	24	108	68	5*24	33.0
15号	40	46	57	24	112	70	5*25	33.5
17号	41	47	58	25	116	70	5*25	34.0

《女性 ズボン》

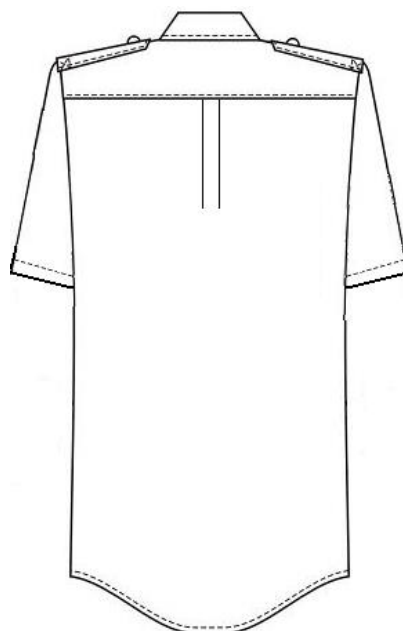
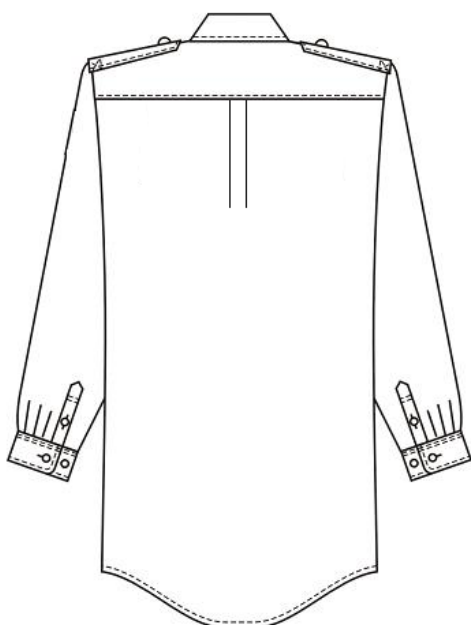
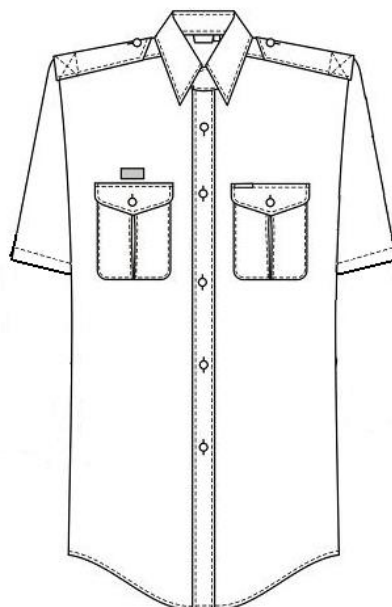
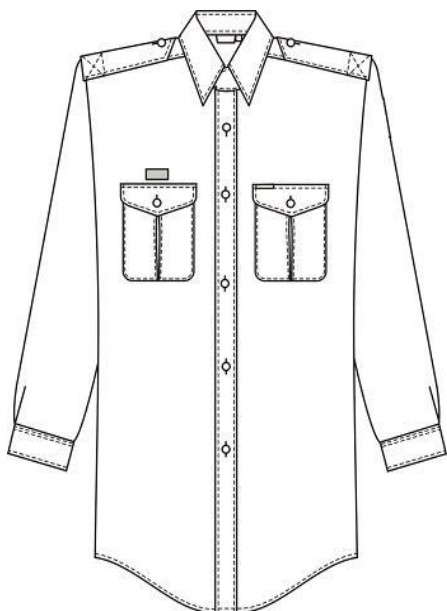
	W	H 上り	股上	裾巾
7号	60	97	28	21.0
9号	63	100	29	21.5
11号	66	103	29	22.0
13号	69	106	30	22.5
15号	72	109	30	23.0
17号	75	112	31	23.5

《女性 スカート》

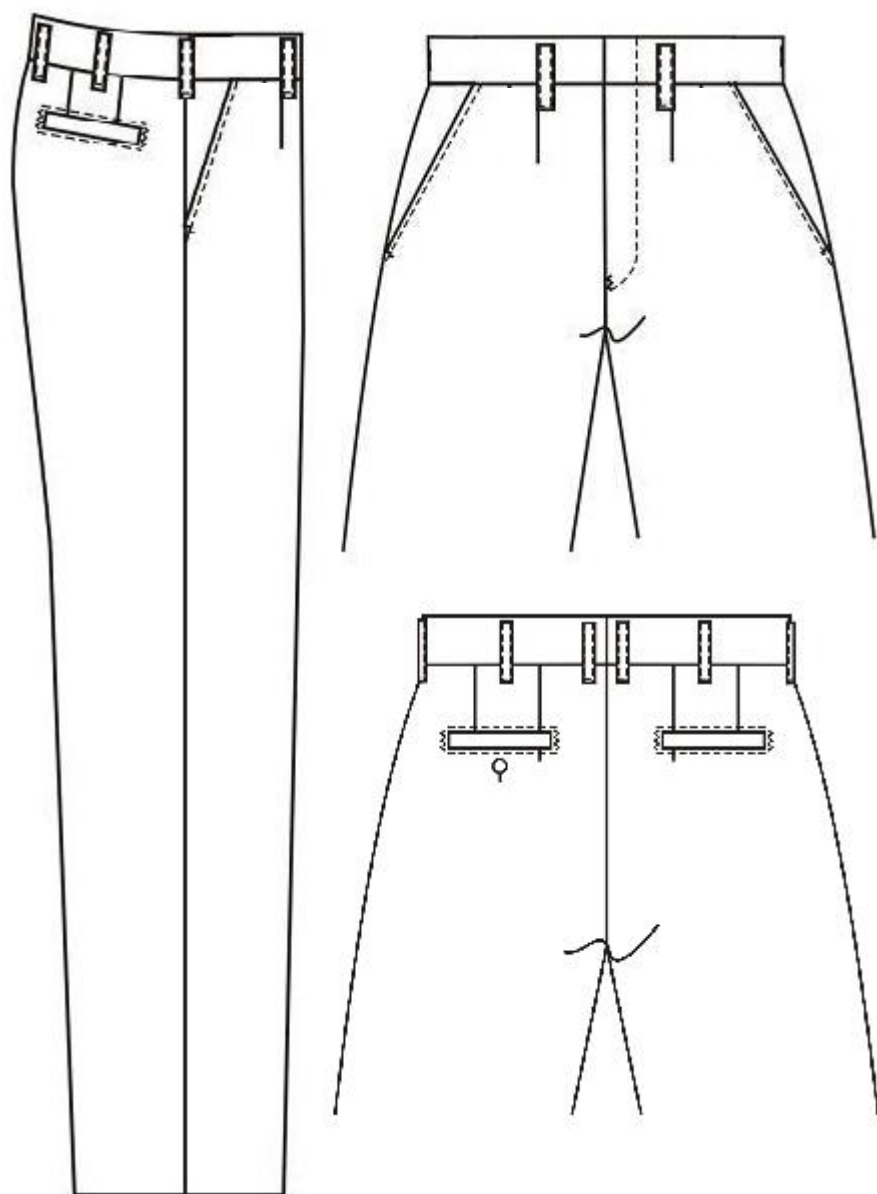
	W	H 上り	丈
7号	60	93	56
9号	63	96	57
11号	66	99	57
13号	69	102	58
15号	72	105	58
17号	72	108	59

<参考図>

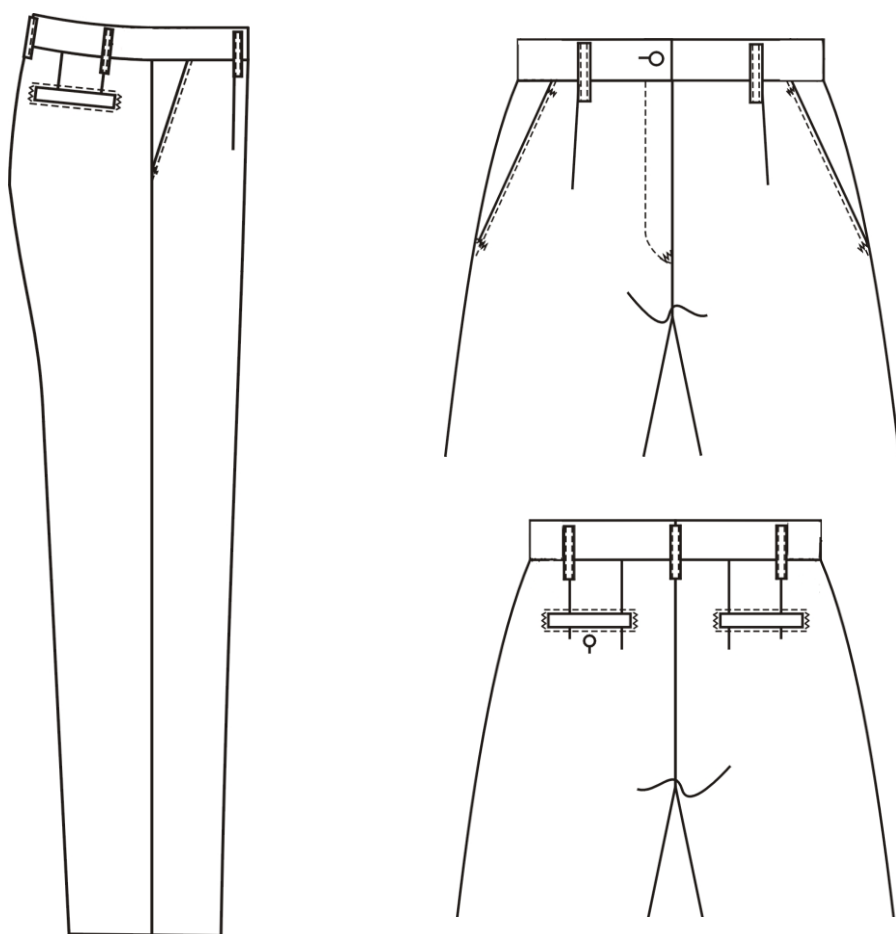
[盛夏服 長袖上衣・半袖]



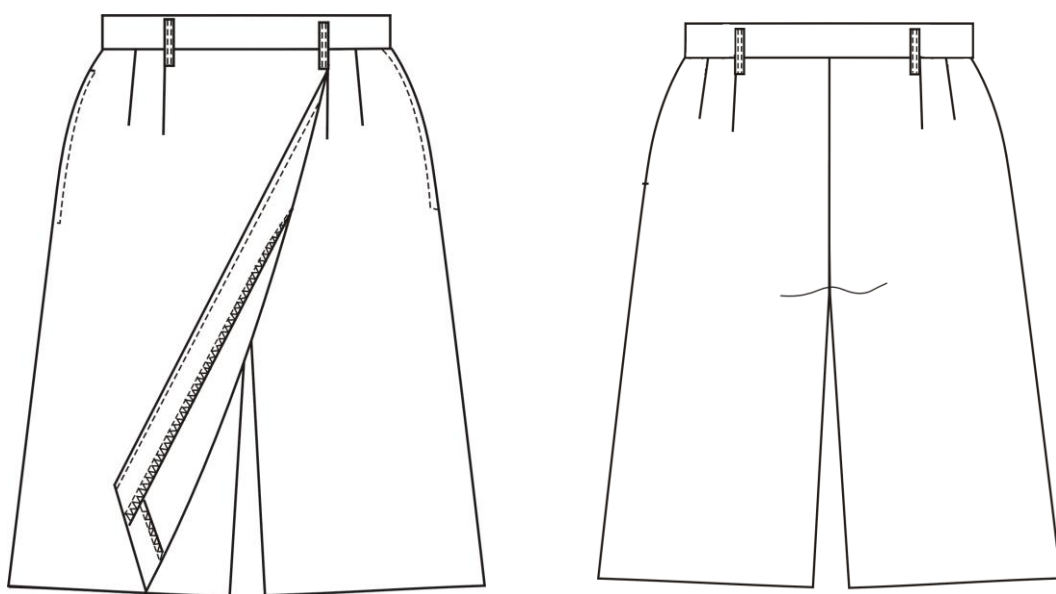
〔盛夏服ズボン（男性用）〕



〔盛夏服ズボン（女性用）〕



〔盛夏服ラップキュロット（女性用）〕



3 制 帽

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

1. 冬制帽

(１) 材 料

(男性用)

表生地	制服と同色とする
裏地	純綿、平織、防縮加工したもの、堅牢な黒色
ビニールフィルム	裏張り、汗切り用
庇	①表……ビニールレザー、黒色 ②裏……再生革、シボ付き、黒色
あごひも	黒色の合成皮革製、幅１２mm
びん革	デラ・クール使用、幅４cm、片折り玉縁飾りミシン縫いとする。
前立ばね	幅３cmポリエチレン板に、ら線状バネを縫い付ける。
帽章	黒ラシャ生地の８枚葉金モール刺繍で、金属消防章（銀色）を抱擁する。
耳釦	真鍮製、金色
天張り	硬質ビニールに＃１９番銅線を２本入れる。
ハト目	黒色のもの
腰枠	ポリエチレン板、幅５cm、厚さ幅１．５mm
周章	消防吏員服制基準のとおりとする。

(女性用)

表生地	制服と同色とする
裏地	純綿、平織、防縮加工したもの、堅牢な黒色
ビニールフィルム	裏張り、汗切り用
庇	円形つば型
腰部	表生地使用
帽章	黒ラシャ生地の８枚葉金モール刺繍で、金属消防章（銀色）を抱擁する。
周章	消防吏員服制基準のとおりとする。
型式	ハイバック型

(2) 縫 製

(男性用)

天井拵え	表生地を楕円形に裁ち、裏生地も楕円形に裁ち、ネーム入りの付いたビニールフィルム（汗止め用）と縫い合わせる。
襠縫	①表生地を前襠 2 枚、後襠 2 枚に裁ち、各先端を後片倒し縫いで止め、輪状とする。 ②各縫い代は 5 mm 以上とする。 ③片方に 2 個ずつのハト目穴を施す。
腰拵	腰の両端を片倒して縫い合わせ、輪状とし、下端玉縁をつくる。
天まとめ	①天井布と襠布との各先端とを縫い合わせる。 ②縫い合わせた上をバイアスで包み縫いをする。 ③次に腰の上端と襠の下端を縫い合わせバイアスで包み縫いをする。 ④各縫い代は、5 mm 以上とする。
腰枠拵え	①ポリエチレン板で各サイズに合せ、両端を合わせ輪状に止める。 ②腰中央部（全面）に前立用バネを固定する。
仕上げ	①腰枠を腰布内部に入れ、腰布下部を内側へ折り返してミシンにて縫製する。 ②全面中央に庇を付け、内側にびん革を縫い付け、後部重ね目はハトで止める。 ③黒色斜子ベリ、金蛇腹等により周章を縫い付ける。 ④前面中央部に前章を縫い付ける。 ⑤あごひもを耳釦で止め裏側に通して耳釦の割足を内部へ折り返す。 ⑥びん革を内側へ折り返し仕上げる。 ⑦厚紙の仮枠を入れる。

(女性用)

天井部	天井分にサイズ・氏名を明記できる名札入れを設ける。
外周部	消防吏員服制基準のとおりとする。

2. 盛夏帽

(1) 材 料

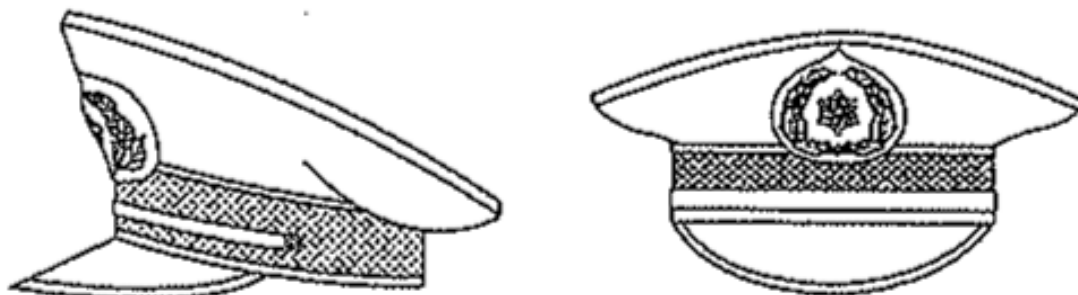
制帽の仕様に同じ。ただし、表生地は、盛夏服ズボンと同生地、同色とする

(2) 縫 製

制帽の仕様に同じ。ただし、仕上げにおいて斜子ベリは、S D 色（同系色）とする。

<参考図>

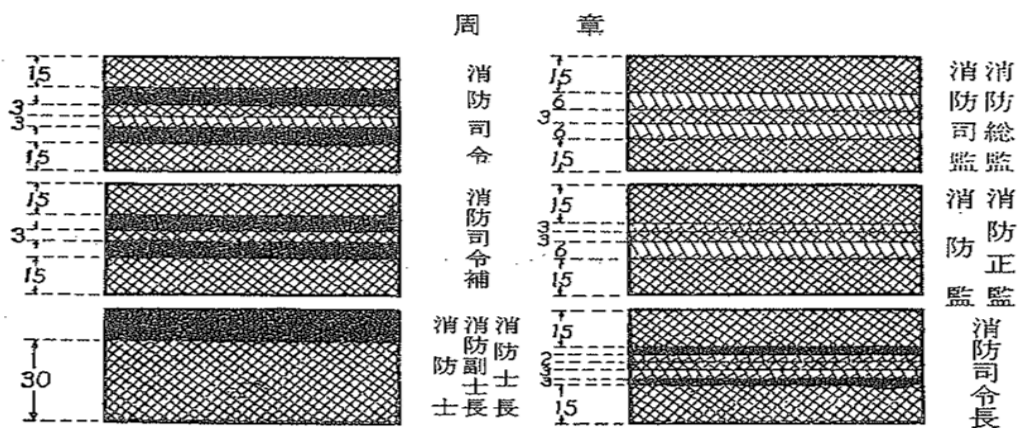
[制帽・盛夏帽（男性用）]



[制帽・盛夏帽（女性用）]



[き章・周章]



4 ネクタイ

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

1. ネクタイ（制服用）

区 分	規 格 等
製 式	裏付棒ネクタイとする。
裁 断	表地及び芯地とも正バイアスとする。
形 状	(1) 長さ 143cm (2) 前先巾 9cm (3) 後先巾 4cm
素 材	ポリエステル 100%
色	紺地にオレンジのストライプ柄、消防章入りとする。（別図参照）

2. ネクタイ（盛夏服用）

区 分	規 格 等
製 式	裏付棒ネクタイとする。
裁 断	表地及び芯地とも正バイアスとする。
形 状	(1) 長さ 143cm (2) 前先巾 9cm (3) 後先巾 4cm
素 材	ポリエステル 100%
色	青地にオレンジのストライプ柄、消防章入りとする。（別図参照）

<参考図>



5 ベルト

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

1. 制服用ベルト

区 分	規 格 等
種別	ナイロンベルト
色	濃紺（ズボンと同系色とする。）
止金	ローラーバックル
マーク	消防マークとする。

2. 盛夏服用ベルト

区 分	規 格 等
種別	ナイロンベルト
色	青（ズボンと同系色とする。）
止金	ローラーバックル
マーク	消防マークとする。

6 活動服

仕様については、消防吏員服制基準（昭和42年2月3日消防庁告示第1号）に定めるもののほか、次による。

1. 品名、品番

- <上衣> (株) イマジョー製 TX9280
<ズボン> (株) イマジョー製 TX9281SP

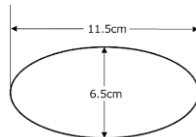
2. その他追加仕様

<上衣>

ア. 左胸雨蓋上部に楷書体、金茶色で上段に西部消防局、下段に個人名(姓のみ)を刺繍する。

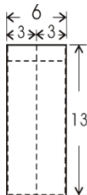
イ. 右袖肩付けより8cm下に指定型のワッペン台座<面ファスナー／ループ面>を縫い付ける。

<右図>



ウ. 左袖肩付けより8cm下に長さ13cm、幅6cmの2本入りペン差し取り付け。

<右図>



エ. 背ヨークに下記の指定デザインを反射ネイビー及び縁取りホワイトにて圧着プリントする。

・フォント：メイリオ ・サイズ：W310mm×H56mm ・カラー：ホワイトフチ×ブルー 反射材



<ズボン>

裾仕上げは靴擦れ付きとしミンタタキ縫いにて仕上げる。

3. 階級章台 胸部右のポケットブタ付根上部中央部1cmの位置にタテ2.5cm、ヨコ4.0cmの上着と同色のマジックにて四方を縫い付けること。

4. 形式

区 分	形 式
上 衣	立体裁断及び立体縫製、スタンドカラーフルジップ式、衿トリミング入り、両胸ファスナー式アウトポケット、左右胸ヨーク切り替え、肩章付き、カフス付きファスナー止め、背ヨーク切り替え、背中切り替え蓄光パイピング挟み込み、両肩部切り替え蓄光パイピング挟み込み、階級章台付き、裾シャツ型、背プリント入り、左胸刺繍、左袖ペン差し付き、右袖ワッペン台座付き
ズボン	立体裁断及び立体縫製、ワンタック、左右脇ポケット、左右両退部ファスナー式切ポケット、左上

	前ファスナー開き前カン止め、ベルトループ 7 本（両脇ツインループ）、左右尻ポケット
--	--

5. 材料 ※同等品以上可

区 分	形 式
主生地	ア 素 材：日本毛織株式会社 難燃ストレッチリップストップ F B R 7 8 5 イ 混紡率：メタ系アラミド 5 6 % 難燃レーヨン 2 6 % ポリエステル 1 5 . 5 % ポリウレタン 2 . 5 % 導電性繊維混入 ウ 色 相：紺色 エ 性 能：難燃 ストレッチ 吸水 速乾 制菌
副生地	ア 素 材：日本毛織株式会社 難燃ストレッチリップストップ FBR785 イ 混紡率：メタ系アラミド 5 6 % 難燃レーヨン 2 6 % ポリエステル 1 5 . 5 % ポリウレタン 2 . 5 % 導電性繊維混入 ウ 色 相：オレンジ色 エ 性 能：難燃 ストレッチ 吸水 速乾 制菌

6. 資材

品名	規格	使用箇所
芯地	接着芯地	衿、カフス、見返し、玉縁、ポケット口
ファスナー YKK 製	・樹脂製（裏使い） 5 8 cm～6 6 cm 1 3 cm 1 7 cm ・金属製／3 Y G 1 6 cm～2 2 cm	上衣前合わせ ※サイズにより変更 胸ポケット 袖口、カーゴポケット ズボン前合わせ ※サイズにより変更
面ファスナー < B 面／ループ >	2 . 5 cm×4 cm	階級章台
蓄光パイピング	L F U C 1 2 0 0	肩切り替え、背ヨーク切り替え、
前カン	金属	ズボン帯前合わせ中心
腰裏 滑り止め付	7 cm 上がり	ズボン腰裏

7. 縫製条件

針数	3 cm 間で地縫いは 1 2 針以上、飾り縫いは 1 2 針以上、オーバーロックは 8 針以上とする。
穴かがり	ネムリ穴とする。
ボタン付け	機械付け、又は手付けとする。手付けは 2 本の糸を 1 個の穴に 3 ～ 4 回通し根巻きは 3 回以上とする。
裁縫	糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。縫い糸はテトロン糸を

	使用し、糸始末は丁寧に行うこと。
デザイン	立体構造のものとする。
サイズ	体形に合わせて A 体はスリムに、B 体は若干のゆとりをもったサイズ構成をとること。

8. 縫製要領

(1) 上衣

衿	スタンドカラータイプとし、ファスナーは衿先までとする。表裏衿端に副生地で 12mm 幅のトリミングを入れ周囲にステッチをかける。衿巾は中央で 8 cm、衿先は巾 6 cm とし、裏衿腰部部分にステッチを 6 本かけ、衿腰より衿端にはジグザグステッチを 9 本かける。衿裏にステッチを 7 本かけた半月型の当て布を衿中央下部に縫い付ける。
前合わせ	突合わせとしファスナーのムシを見せないように付け、見返し側も同様とする。 ファスナーは、見返しと挟み縫いしダブルステッチを裾までかけ、下ファスナー止まり位置に門止めをする。
胸ヨーク	左右前身の胸の辺りで切り替え、上身頃側へステッチをかける。
肩章	副生地を使用し、巾は 5 cm（剣先側 4 cm）先三角形型とし周囲にステッチをかける。肩側は袖付け根に挟み、袖側より 4 cm 入った位置で縫い止め、その間にクロスステッチをかける。肩章先は縫い止めとする。
胸ポケット	幅 16 cm、高さ 16.5 cm の両玉縁ファスナー付きアウトポケットとし、上辺は胸ヨーク切り替えに挟み付けし、周囲はステッチで縫い付ける。 ファスナーは閉じて脇側とし、ポケット口の周囲にステッチをかけ両端は門止めをする。 左ポケット内側に幅 2.5 cm のペン差し口を設ける。 左胸ポケット内の脇側に 4 cm×5 cm のペン差し用ループ(2 本用)を付けること。
階級台	右胸上部に 2.5 cm×4 cm の面ファスナーを取り付ける。
背ヨーク (蓄光パイピング入り)	副生地を使用した 1 枚仕立て V ヨークとする。背ヨーク、肩章付け辺り位置で切り替え、蓄光パイピングを挟み縫いし、ヨーク側にステッチをかける。大きさは中心で 21 cm（サイズにより変動）とする。
脇身頃 (ベンチレーション式)	脇身頃は裾から脇下まで、脇下から袖口までを続きとし、脇下に重ね布式ベンチレーションホールを設ける。ベンチレーションホールは袖下布を上へ脇下身頃と重ね、上下を離し脇線のみで縫い合わせ、前後身頃側にステッチをかける。
袖	2 枚袖としカフス幅 6 cm とする。袖口に 2 本タックを取り、ファスナーを付ける。袖下縫いは脇線から続けてインターロック始末、又は地縫いとオーバーロック始末とする。カフス付け内側始末は、折り曲げ、カフス付け側にダブルステッチをかける。袖開きは玉縁ファスナーとし、袖口カフス手前まで水かきを付ける。 立体を持たせる為に袖付け根後部にダーツをとる事とする。 カフス裏は副生地を使用する。
ペン差し	左袖付より 8 cm 下に位置に横 6 cm（3 cm×2 本）、深さ 13 cm のペン差しを付ける。
後身頃	後身頃は、ヨークと縫い合わせヨーク側へステッチをかける。

裾	シャツ型とし、三つ折り始末とする。
片布・品質表示	胸ポケット位置の身頃裏面に付ける。
衿吊り・サイズ表示	衿吊りは後中心に挟み付け、サイズ表示は衿吊り横に挟み付ける。
背中プリント	背ヨーク中央に反射材にて指定デザインをプリントする。＊詳細は協議の上決定する。
左胸刺繍	左胸ポケット上部に『西部消防局』、個人名(姓のみ)『〇〇』と刺繍を入れる。刺繍糸色は金茶色とする。
右袖ワッペン台座	右袖 8 cm 下に指定ワッペン台座を取り付ける。

(2) ズボン

前タック	左上前ファスナーあき、左右のウエストにワンタックをとり脇側（外向き）に片倒しをする。
前立て	前立ては芯を入れ、表裏を地縫い返し、見返し裁ち目はオーバーロックをかける。 上前側は、3.5 cm 幅の飾りステッチで押さえ、ファスナーあき止まり位置は小丸にし、門止めをする。上前裏にファスナーを2条縫いで縫い付け、下前側はファスナーを挟み縫いする。
脇ポケット	左右の両脇に斜め切り替えポケットを付ける。ポケット口の長さ 15 cm とし、口の上下端に門止めをし、口にはステッチをかける。向う布の端は、袋布に縫い合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。右ポケットの袋布に小袋を縫い付ける。
カーゴポケット	左右の両脇に上端から 29 cm の位置に片玉縁付きファスナー付き切ポケットを設ける。 ポケットの幅は 16 cm、深さ 20 cm としファスナーは閉じて後ろ側とする。 向う布の端は、袋布に縫い合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。
後	左右のウエストに各 1 本のダーツを取り、内側に片倒しをする。 後中心の尻縫いは片倒し縫い、裁ち目はオーバーロックをかける。 脇線とポケット辺りで切り替え、ウエストベルト付け下から裾まで脇側にステッチをかける。 後身を切り替えた中心側の太腿辺りを斜めに切り替え、裾側へステッチをかける。 ダーツ、後身、内腿切替え部は臀部の突っ張り感を軽減させるために必要とする。
後ポケット	玉縁幅 1 cm、口の長さ 14 cm の片玉縁ポケットを左右に付ける。 ポケット口の周囲はステッチをかけ、両端は門止めをする。 向う布の端は、袋布に縫い合わせ、袋の周囲は袋縫いをする。
ウエスマン（腰帯）	幅 4 cm とし芯を貼り腰裏にマーベルトを取り付ける。前両端は内側に折り曲げステッチで押さえる。ウエスマン前中心は前立てステッチ幅に合わせてステッチをかけておく。 ファスナー上の腰帯幅中央に前かんを付ける。
ベルトループ（7本）	ベルト通しは幅 2 cm、通し巾 5.5cm のループを前タック位置、脇、後ダーツ位置に 6 本縫い付け、後中心にはループ幅 8 cm、両端 6 cm、中心部の長さ 7.5 cm のホー

	ムベース形とし、ループの両端はコバステッチをかける。 左右脇側は幅 2 cm、上段通し巾 5.5cm、下段通し巾 3 cm とのツインループとし 下端にステッチをかけ下段ループの上下に閉止めをする。
シック	下前の持ち出し布下へ棒シック布を縫い代端に縫い止める。
裾	裾はオーバーロック始末し、すくい縫いとする。
脇縫い	後へ片倒しとし、ステッチをかけ裁ち目はオーバーロック始末とする。
内股縫い	縫い割りし、裁ち目はオーバーロック始末とする。
サイズ表示・品質表示	片布下端に挟む。
片布	ポケット袋布に縫着する。
警告ラベル	ポケット袋布に縫着する。

9. サイズ表（単位：cm）

<上衣>

部位 サイズ	着 丈	肩 幅	胸 囲	袖 丈	首回り
WS	72	41	92	50	36
ASS	72.5	43	96	51	38
AS	73	44	100	78	38
AM	75	46	105	55	39
AL	77	48	110	57	40
ALL	79	50	115	59	42
A3L	81	52	120	61	44
BS	73	48	110	51	43
BM	75	50	115	53	45
BL	77	52	120	55	47
BLL	79	54	125	57	49
B3L	81	56	130	59	51

<ズボン>

部位 サイズ	ウエスト	ヒップ	股下
W61	61	93	採寸により決定する
W64	64	95	
W67	67	97	
A1	70	98	
A2	73	100	
A3	76	103	
A4	79	106	
A5	82	108	
A6	85	111	
A7	88	114	
B00	82	110	
B0	85	113	
B1	88	116	
B2	91	119	
B3	95	122	
B4	100	125	
B5	105	128	
B6	110	132	

10. 参考図

<上衣>



<ズボン>

